

## R5-13

## 関係機関と連携した1日防災学校

- 管 内 宗谷管内
- 分 類 避難訓練 危険対応能力 防災訓練 その他（ ）
- 教育課程 教科（社会科） 道徳 総合的な学習（探究）の時間 特別活動
- 校 種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 1 消防署と連携した避難訓練の実施
- 2 市の防災課と連携した地域の災害に関する学習の実施
- 3 NHKと連携した映像資料を用いた防災学習やVR体験の実施
- 4 総合振興局と連携した防災食調理体験及び「D。はぐ」の実施

## ■取組の実際

## ねらい

- 関係機関と連携した体験的な学習を通して、災害に関する理解を深めるとともに、事故、災害等身の回りの危険を予想・回避し、危険から身を守る行動をとることができる実践的な力を養う。

## 内 容

## 1 消防署と連携した避難訓練と災害時における応急手当等の体験

災害発生時に自らの命を守る行動をとれるよう、地震発生による火災を想定し、緊急地震速報の活用及びスモークを取り入れた実践的な避難訓練を行った。消防署職員から避難状況について講評を受けた後、傷病者の運搬方法や応急手当、AED講座など、災害発生後に想定される体験的な活動を実施した。



【応急手当体験の様子】

## 2 市の防災課と連携した災害ハザードマップを用いた学習や避難所設営体験

稚内市で実際に起きた災害について市の防災課職員からの説明を受け、身近に潜む危険箇所や具体的な対応策についてハザードマップを基にグループ協議を行った。また、段ボールベッドの組立体験など避難所設営体験を実施した。



【段ボールベッドの組立体験の様子】

## 3 NHKと連携した映像資料の活用による防災学習やVR体験

東日本大震災や北海道胆振東部地震等、NHKが作成した映像を活用し、地震が起きた際の心構えなどを学んだ。また、VRのシミュレーションを利用して、大きな地震の揺れや津波による浸水体験を実施した。



【VR体験の様子】

## 4 総合振興局と連携した、防災食調理及び「D。はぐ」（避難所運営ゲーム）体験

災害時における食事について、アルファ化米を利用した調理を通じて理解を深めるとともに、身近にある防災食や、ローリングストックの大切さについて総合振興局職員から説明を受けた。

また、「D。はぐ」体験を通して避難所運営について体験的な活動を実施した。



【「D。はぐ」体験の様子】

## 成果と課題

- 関係機関と連携した様々な体験を通じて、生徒及び教職員の防災意識が高まるとともに、緊急時に身を守るための行動について、知識を習得することができた。
- 次年度以降も継続して実施していくために、学年ごとの系統性を踏まえて、内容を検討する必要がある。